

令和6年度 教科指導計画表

学 年	科目名	単位数	担当者名	使用教科書・副教材
第2学年	地理総合	3	竹田 浩一郎	わたしたちの地理総合（二宮書店）

育成を目指す3つの目標

知識及び技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考力・判断力・表現力	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
学びに向かう力、人間性	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	予 定	時 数	実 施	時 数
1 学 期	1章 地図とGISの活用（1～4節） （中間考査）	11		
	2章 生活文化の多様性と国際理解（1～2節） （期末考査）	15		
2 学 期	2章 生活文化の多様性と国際理解（3節） （中間考査）	15		
	2章 生活文化の多様性と国際理解（4節）			
	3章 地球的課題と国際協力（1節） （期末考査）	15		
3 学 期	3章 地球的課題と国際協力（2～4節） （学年末考査） ※4章 生活圏の諸課題（1～2節）は1章～3章の探究的課題として取り組む	17		

評 価

評価の観点	評価の観点の趣旨
知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めている。

評 価 方 法

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
定期考査、学習ノートの提出により評価する。	定期考査、学習ノートの提出により評価する。	発問に対する応答、欠席の状況、授業時の作業状況、学習ノートの提出により評価する。

観 点 別 評 価 パ タ ー ン と 評 定

備 考

AAA	5	ABB	4	BBB	3	BCC	2
AAB	4	BAB		BBC		CBC	
ABA		BBA	BCB	CCB			
BAA		CBB	CCC	1			

・評価の観点①②③の順である。
・左記パターン以外は、教科担当の審議により評定を出す。